事例No.	1173
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	茨城県東海村

事例区分	一般行政

タグ	・情報公開 ・教育・子育て ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

森林病害虫対策及び植樹等の森林普及活動

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

茨城県　東海村（森林病害虫対策及び植樹等の森林普及活動）

- 東海村では、森林環境譲与税を活用し、村を代表する景勝地で多くの観光客が訪れるなど、公共性が高い「村松晴嵐の碑」や「八間道路」周辺の砂防林で、クロマツを計画的（5年）に植樹するプロジェクトを発足した。地域の砂防林への理解を深め、歴史ある観光資源を松くい虫被害から再生する活動を、地域住民とともに取り組んでいく。
- 令和元年度は、森林整備（周辺地の環境整備及びクロマツの植樹）及び砂防林についての学習や植樹体験を行い、森を守り育てることの大切さを普及啓発した。

□ 事業内容

1　森林整備

- 松くい虫被害により枯れてしまった砂防林の再生（下刈り、伐倒くん蒸等の環境整備、抵抗性マツの植樹）

【事　業　費】計1,100千円（うち譲与税1,100千円）

【実　　績】樹木抜根・残材振るい・整地：460㎡／除草・積込運搬：940㎡／伐倒くん蒸：1㎥／クロマツ（仕立て松Ｈ＝2.0m）植栽：2本／抵抗性クロマツ（コンテナ苗Ｈ＝0.2m）植栽：86本

2　普及啓発

- 植樹イベントを開催し、地域の方々や子どもたちとともに、砂防林造成の歴史についての勉強会や植樹体験を実施した。

（事業費、実績については、１森林整備　と同様）



（事業１：整備後の晴嵐の碑周辺）



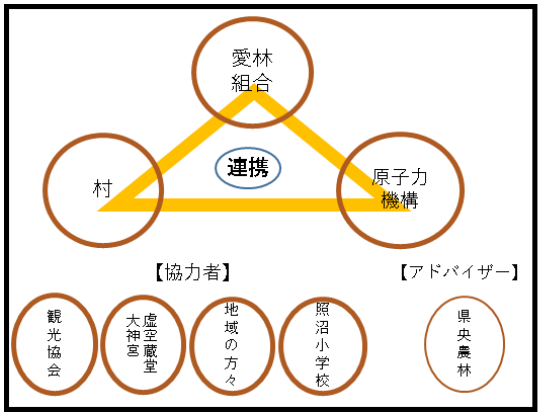


（事業２：植樹体験の様子）

□ 事業スキーム

1　森林整備

2　普及啓発



□ 工夫・留意した点

- 植樹等の技術的な方法については、茨城県県央農林事務所林業振興課にアドバイスをいただいた。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	1,786千円
②私有林人工林面積（※１）	233ha
③林野率（※２）	17.1%
④人口（※３）	37,713人
⑤林業就業者数（※４）	2人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」